

# ポロニア

岩手県高等学校PTA連合会会報

第30号

2013-7  
平成25年  
7月

ポロニアは桐花「桐」の学名です

発行・岩手県高等学校PTA連合会〈事務局〉盛岡市上田三丁目2-1 岩手県立盛岡第一高等学校校内  
TEL(019)625-6386 FAX(019)613-7795 【E-mail】 iwa\_koupren@ybb.ne.jp

## 教育環境改善へ活動

### 定期総会 新会長に内館氏選任

県高P連の平成25年度事業計画が決まりました。定期総会で承認されたもので、本年度は教育環境改善促進のための活動強化、東日本大震災の被災校・被災者支援、復興教育の取り組みなど7項目の事業を推進。平成27年度に開催される第65回全国高P連岩手大会の準備に本格的



本年度事業計画など承認した定期総会

に取り組みることになりました。任期満了に伴う役員改選では、会長に内館茂氏（盛岡第一高等学校PTA会長）を選任しました。

定期総会並びに研究協議会は6月7日午後零時30分から盛岡市のサンセール盛岡に67校から各校のPTA会長、副会長ら約280人が出席して開催されました。

松尾会長は「われわれは、もう少しで子どもたちを社会の荒波の中に送り出さなければなりません。務めもあとわずかです。で、気を引き締めて頑張らなければと思います」と挨拶しました。

このあと表彰に移り、個人表彰受賞者53人と第17回広報紙コンクール入賞校9校の代表者に松尾会長が表彰状を授与。受賞者を代表して高田高校の及川満伸会長が謝辞を述べられました。また、2年間にわたって会長職を務められた松尾前会長に内館新会長から感謝状が贈られました。



内館新会長から松尾前会長に感謝状贈呈

等学校長協会会長（盛岡第一高校校長）、金谷茂県PTA連合会会長（盛岡第四高校PTA会長）から祝辞をいただきました。皆川繁雄住田高校PTA会長を議長に選出して議事に入り、本年度の活動方針・事業計画、同収支予算、役員選出、平成27

### 新渡戸稲造精神 今こそ学ぶべき

吉丸蓉子さんが講演



研究会のあつと、吉丸蓉子さん（元盛岡市先人記念館館長）の講演。写真から「太平洋のかけ橋 新渡戸稲造・その仕事と思想」という演題で講演をいただきました。

吉丸さんは、教育者・学者、思想家・著述家・言論人、国際

年度全国高P連岩手大会開催に向けての取り組みなど7議案を審議。事務局からの提案説明のあと、いずれも原案通り承認されました。

内館会長は「高校時代の3年間はとても大切な時間だと思います。大きな役割をいただきましたので、皆さんに教えていただきながら精いっぱい頑張りたい」と決意を述べました。

総会のあとの研究協議（行政説明）では①「新学習指導要領について」（県教育委員会事務局学校教育室首席指導主事兼高校教育課長・川上圭一氏）②「いわて復興教育」（同復興教育担当主任指導主事・鈴木智香氏）について説明が行われました。

人などとして多彩に活躍した新渡戸の仕事を紹介。その基本になっている思想の形成過程で最も大きな影響を受けたのは、札幌農学校のクラーク博士とキリスト教との出会いだった。クラーク博士の自由と自主独立、人間平等の精神による全人教育の精神を受け継ぎ「南原繁、河合栄治郎、矢内原忠雄など多くの人材を育て上げたことこそ最大の功績」とし「今の時代こそ献身と奉仕、平和の心など稲造から学ぶべきことが多い」と語りました。

# 新役員

会長 内館 茂(盛岡第一)  
 副会長 藤原 誠司(盛岡第三)  
 高橋 年徳(花巻農業)  
 佐藤 栄一(一関第二)  
 佐々木孝子(宮古北)  
 生内 雄二(福岡)  
 佐々木 清(平館)  
 田中 眞理(盛岡第二)  
 米田ミドリ(盛岡農業)



決意を述べる内館新会長

去石真由美(不来方)  
 菊池 敦子(遠野緑峰)  
 高橋 友行(黒沢尻工業)  
 佐々木三氏夫(水沢商業)

監事  
 吉田 仁一(千厩)  
 残間 潤高(田)  
 菊池 公男(釜石)  
 木戸口春彦(軽米)  
 向田 幸助(大野)  
 松尾 榮一(雫石)  
 生平 孝洋(久慈東)  
 松尾 正弘(前会長)  
 工藤 重信(元会長)  
 高橋 廣至(校長協会)  
 高橋 秀幸

# 表彰受賞者



受賞者を代表して表彰状を受け取る及川満伸高田高校会長

◆感謝状  
 県高P連会長 松尾 正弘  
 ◆個人表彰  
 盛岡第一 副会長 福井 誠司  
 盛岡第二 副会長 尾形 成  
 盛岡第四 会長 鈴木 正宏  
 盛岡南 会長 安藤 浩己  
 不来方 会長 小笠原千永  
 杜陵 会長 笹山真由美  
 盛岡農業 会長 種市 新一  
 盛岡工業 会長 菅原 優  
 副会長 吉田久美子

平 館 副会長 佐藤 和典	紫波総合 会長 福田 國幸	盛岡市立 副会長 鎌田 弘枝	花巻北 会長 武藏ひろ子	花巻南 会長 平野 雅彦	花巻農業 会長 宮川 昌之	花北青雲 会長 佐藤 道輝	大 迫 会長 伊藤 照明	黒沢尻北 副会長 白畑 扇佳	遠野 会長 角田 直樹	遠野緑峰 役員 多田美奈子	水 沢 会長 久慈 勝範	杜陵・奥州 会長 梅田 敏雄	水沢農業 副会長 及川 朝美	水沢工業 会長 千葉 義浩	水沢商業 会長 石川 栄幸	前 沢 会長 尾形 秋芳	一関第一 副会長 松田 謙治	一関第二 副会長 岩本 宰一	阿部 泰存	葛 卷 会長 澤野里 幹信	福岡工業 副会長 田畑 静子	福岡・浄法寺 会長 安ヶ平広美	福岡市 役員 関 雄一郎	種市 会長 吹切 敬守	久慈工業 会長 來迎 勝子	岩 泉 会長 佐藤 和博	宮古商業 会長 岩船 伸介	宮古工業 会長 山名 洋	宮古北 副会長 滝澤 肇	宮古 会長 大澤佳代子	山 田 会長 栗澤 直樹	釜石商工 役員 佐々木郁子	住 田 副会長 泉田 浩喜	高 田 会長 及川 満伸	大 東 副会長 佐藤真由美	一関工業 会長 伊東 吉光	小楠 雅之
---------------	---------------	----------------	--------------	--------------	---------------	---------------	--------------	----------------	-------------	---------------	--------------	----------------	----------------	---------------	---------------	--------------	----------------	----------------	-------	---------------	----------------	-----------------	--------------	-------------	---------------	--------------	---------------	--------------	--------------	-------------	--------------	---------------	---------------	--------------	---------------	---------------	-------



本校は、農業、食品、環境等に関心を持つ生徒が県内一円から集まっており、生徒の約3分の1が寮生活を送っています。そのため保護者が一堂に会してPTA活動を行うことは困難を伴います。

また、5つの専門学科があり、それぞれ性格が異なるため、学校全体の理解が難しいという面もあります。そこで盛岡祭への出店、PTA研修会など、保護者が気軽に学校へ足を運び、学校を見ていただく機会を多く設けるよう努

## おらほのPTA

### 活動通して交流を促進

岩手県立盛岡農業高等学校  
 PTA会長 井上 勝巳



めています。

中でもPTA研修会は、母親委員会を中心となって企画し、各学科の学習内容を生徒と一緒に体験しています。

この4月には動物科学科関連企画として、牛の搾乳体験を行いました。職員から説明を受けた後、おっかなびっくり牛の乳房に触れ、乳搾りを行いました。初めて体験する方にとってはなかなか難しく、生徒の手で毎朝5時から数十頭の搾乳が行われていることに感心させられました。

この他今年度は豆腐づくり、和菓子作り、寄せ植え、森林クラフトなど各学科の内容に応じた研修を予定しています。

こうした活動を通して保護者同士が親しく触れあい、わが子の学校を知り、子どもと共に農業や環境、進路を学ぶPTA活動をつくっていきたいと考えています。

おいしいパンが焼けそう



# がんばろう！岩手

第5回

岩谷堂高等学校

PTA会長 鎌田 隆

本校のPTA研修旅行は例年、東北高P連が行われる会場県を訪問していましたが、昨年度には「三陸復興応援！」ということで陸前高田市を訪れました。矢作小学校グラウンドに立つ神明前仮設団地では、文化祭時に母親委員会と協賛で制作したナイロンタオルとタオルを、団地に住む40世帯の代表の

## 復興支援でタオルやタオルを寄贈

方に寄贈して交流してまいりました。その後、語り部さんの案内で奇跡の一本松、旧市役所・市民会館・体育館、陸前高田駅跡地等を訪れ、亡くなった方々のご冥福を祈りました。帰りに

「1人3000円以上の買い物で復興に寄与しよう」を合言葉

## 復興支援でタオルやタオルを寄贈

に買い物支援をし、帰路につきました。研修旅行は、今後も「三陸復興応援！」として被災地を訪れる予定です。岩谷堂高校生徒会は、震災直後から募金や支援物資の収集・



仮設住宅を訪問しナイロンタオル寄贈 (陸前高田市矢作小学校)



語り部による被害状況説明



平成25年度 震災復興支援標榜コンクール 優秀賞  
岩手県立盛岡第二高等学校 浅里 美結さんの作品

### 請求なければ支払いなし

#### (社) 全高P連賠償責任補償制度

PTA (学校) 単位で加入する制度で制度発足以来12年目となりました。

〈加入状況〉

全国	1,866校	1,095,573人
岩手県	69校	29,543人

〈事故の際は〉

全高P連賠償責任補償制度事故受付電話  
0120-119-110

#### 県高P連高校生総合保障制度

〈加入状況〉

Aプラン(病欠補償あり)	63校	1,750人
Bプラン(病欠補償なし)	63校	856人
Cプラン(自転車重点型)	64校	1,709人

〈引受保険会社〉

●AIU保険会社盛岡支店  
TEL 019(653)1411 FAX 019(623)3541



本校正面に掲げられている賢治の「花巻農学校精神歌」の一節

私たちPTAは、いろんな場面で学校と関わり、校是である「農で学び 農で育ち 農で生きる」を実践する人間育成に協力し、共に研鑽しています。

「ワレラ ヒカリノ ミチヲフム」本校の正面にこの横断幕があります。これは、本校の「花巻農学校精神歌」の一節であります。この歌は、本校で教鞭をとられた宮澤賢治先生が作詞され、「愛農・愛農民精神」が教育の根幹となっておりま。

本校には生物科学科、環境科学科、食農科学科があり、この精神に基づいて勉学に励んでおります。また、昨年開催された第35回岩手県高総文祭・郷土芸能発表会で、本校

### おらほのPTA

## 生徒の人間育成に協力

岩手県立花巻農業高等学校  
PTA会長 高橋 年徳

高橋 年徳



「ワレラ ヒカリノ ミチヲフム」本校の正面にこの横断幕があります。これは、本校の「花巻農学校精神歌」の一節であります。この歌は、本校で教鞭をとられた宮澤賢治先生が作詞され、「愛農・愛農民精神」が教育の根幹となっておりま。

本校には生物科学科、環境科学科、食農科学科があり、この精神に基づいて勉学に励んでおります。また、昨年開催された第35回岩手県高総文祭・郷土芸能発表会で、本校

「ワレラ ヒカリノ ミチヲフム」本校の正面にこの横断幕があります。これは、本校の「花巻農学校精神歌」の一節であります。この歌は、本校で教鞭をとられた宮澤賢治先生が作詞され、「愛農・愛農民精神」が教育の根幹となっておりま。



PTA研修旅行

震災後の文化祭から始まった母親委員会を中心としたPTAバザーは、今年で3回目を迎え、今ではPTAの中心的な行事として浸透しております。カフェと産直販売を交えたこの活動は、今年も活気の中、行われる予定であります。熱意あふれる会員と熱心な先生方に囲まれ、活気あるPTA活動でありたいと考えております。



住高祭では食堂を出店

住田高等学校は、昭和45年に独立校として開校して以来、進学率の上昇とともに生徒数も増え、多い年には全校で500人ほどにもなりました。しかし、例にもれず近年は少子化の影響も大きく、定員を下回る状況になっており、今年度の募集定員が1学級減の40人になりました。それでも、生徒たちは、校訓「自主・創造・至誠」のもと、全校生徒90名の少人数ながらも元氣いっぱい勉学に励んでいます。文教・広報委員会は、PTA会報「清流」の編集・発行をとおして、学校生活の様子やPTA活動の情報を提供に努めています。生活委員会は、生徒たちのメインイベントでもある住高祭で、生徒と一緒に会員も汗を流しながら楽しむ支援態勢を段取ります。私たちPTAも、生徒たちへの支援を惜しまず、楽しみつつ充実した活動を継続することが、学校存続につながると思っています。

おらほのPTA

人格の形成  
一丸で支援

岩手県立水沢高等学校  
PTA会長 川口

澄人



本校は今年度創立103年目を迎え、地域のセンタースクールとして、文武両道をかかげている進学校です。その教育目標は、真善美を常に求め、自主自律の精神と創造建設の気魄(はく)に満ち、友愛と信義を重んずる、心身ともに豊かであり、くましい人間の形成であります。今年度も文部科学省のSSH(スーパーサイエンスハイスクール)の指定を受け、常に高いレベルで

の理数教育の指導を受けるなど、子どもたちは日々勉学と部活動の両立に勤しんでいます。PTAの組織として、総務、健全育成、進路対策、調査広報の各委員会があり、常に連携をとりながら活動致しております。また、PTAの研修旅行として毎年、東北の国立大学の施設を中心に回らせて頂いております。今年度も山形大学への研修を考えております。

おらほのPTA

楽しみつつ  
活動を充実

岩手県立住田高等学校  
PTA会長 皆川

繁雄



住田高等学校は、昭和45年に独立校として開校して以来、進学率の上昇とともに生徒数も増え、多い年には全校で500人ほどにもなりました。しかし、例にもれず近年は少子化の影響も大きく、定員を下回る状況になっており、今年度の募集定員が1学級減の40人になりました。それでも、生徒たちは、校訓「自主・創造・至誠」のもと、全校生徒90名の少人数ながらも元氣いっぱい勉学に励んでいます。

文教・広報委員会は、PTA会報「清流」の編集・発行をとおして、学校生活の様子やPTA活動の情報を提供に努めています。生活委員会は、生徒たちのメインイベントでもある住高祭で、生徒と一緒に会員も汗を流しながら楽しむ支援態勢を段取ります。私たちPTAも、生徒たちへの支援を惜しまず、楽しみつつ充実した活動を継続することが、学校存続につながると思っています。

編集後記

「3人寄れば文殊の知恵」の言葉とおり、意見を出し合い、方向性を見いだし、連携を取り合いながら活動することが大切だと思えます。PTA活動も3人が4人、4人が5人と増えていけば、より一層充実できる活動ができていくと思います▼これからの子供たちには今までの夢や目標が求められる時代です。変化の速い社会環境の中でも、『夢』を持ち続けて人生を送ることが大切であり、その想いを持ち続ければ必ず願いは叶うと私は信じています▼6月21日に第1回調査広報委員会が開催されました。今後、PTAのつながりを大事に広報紙「ポロニア」にて情報発信に努めてまいります。▼御多用中にもかかわらず、快く御執筆いただきました皆様方に厚くお礼申し上げます。

(調査広報副委員長 吉田 仁二)

〈編集委員〉II 調査広報委員会

- 委員長 佐藤 栄一(二 関第二)
- 副委員長 吉田 仁二(千 厩)
- 委員 山岡 勝利(花北青雲)
- 小向 優美(宮古北)
- 仲村 幸子(久慈工業)

〈事務局〉

- 高橋 秀幸(県高P連)
- 木村 智子(県高P連)